

JCOG 1303

脳腫瘍/DARTS(P-III)

調査

追跡調査用紙 3

までにデータセンターに郵送

施設名 ○○○○○がんセンター 担当医 ○× ○×
患者ID (カルテ番号) 12345-6789 患者イニシャル 姓: A 名: A 登録番号 ****

記入者名: CRC記入可(自署)
西暦 年 月 日

登録後5年(登録後5年を経過した時点の前月末の1週間の状況を調査)

5年後 yyyy/mm/dd ← この日付は、登録日から計算した日付ですので、評価時期の目安にしてください。

調査日 西暦 年 月 日
MMSE 点
HVLt-R (フォーム3) 試行1 点 試行2 点 試行3 点 試行4 点
試行5 ①真陽性 点 ②関連のある偽陽性 点 ③関連のない偽陽性 点
就業率調査 10 口 おもに仕事 13 口 通学のかたわらに仕事 14 口 家事などのかたわらに仕事
01 口 仕事を少しもなかった(仕事を休んでいた) 02 口 仕事を少しもなかった(仕事を探していた)
03 口 仕事を少しもなかった(通学) 04 口 仕事を少しもなかった(家事)
05 口 仕事を少しもなかった(その他(高齢者))

登録後10年(登録後10年を経過した時点の前月末の1週間の状況を調査)

10年後 yyyy/mm/dd ← この日付は、登録日から計算した日付ですので、評価時期の目安にしてください。

調査日 西暦 年 月 日
MMSE 点
HVLt-R (フォーム3) 試行1 点 試行2 点 試行3 点 試行4 点
試行5 ①真陽性 点 ②関連のある偽陽性 点 ③関連のない偽陽性 点
就業率調査 10 口 おもに仕事 13 口 通学のかたわらに仕事 14 口 家事などのかたわらに仕事
01 口 仕事を少しもなかった(仕事を休んでいた) 02 口 仕事を少しもなかった(仕事を探していた)
03 口 仕事を少しもなかった(通学) 04 口 仕事を少しもなかった(家事)
05 口 仕事を少しもなかった(その他(高齢者))

コメント

Table with 7 columns: DC 記入, receive1, check1, check2, input1, input2, confirm, query, receive2, check3, input3, confirm, fix, review1, review2, memo

コピーして施設でも保管して下さい

JCOG 1303

脳腫瘍/DARTS(P-III)

放治QAチェックリスト 放治終了/中止後14日以内に放射線治療支援センターに送付

施設名 ○○○○○がんセンター 担当医 ○× ○×
登録番号 ****

記入者名: CRC記入可(自署)
西暦 年 月 日

送付先

〒111-0052
東京都台東区柳橋 1-1-15 浅草橋産業会館柳橋タウン 408号
特定非営利活動法人 放射線治療支援センター 宛

- 1. 資料送付の際には、必ず本チェックリストのコピーを施設でも保管して下さい
2. 各資料には、JCOG試験番号と登録番号を記入して下さい

最終検討用資料

放射線治療開始日 西暦 年 月 日
放射線治療終了日 西暦 年 月 日
資料発送日 西暦 年 月 日

確認項目 各種資料は、デジタルデータ(JPEGあるいはDICOM形式)で提出
* 高品質プリントまたはフィルムによる提出のみが可能な場合は放射線治療事務局が放射線治療支援センターと相談の上、対応を検討する。

下記の 口 にチェック(レ点)を入れて、資料に不足がないかご確認お願いいたします

- 口 病巣部を示す診断画像
術前および術後MRIのFLAIR像(T2強調・T2強調類似像)およびGd造影T1強調像において病巣を最も的確に表す画像のコピー
口 治療計画CT(スライス厚5 mm以下)
口 線量分布図
GTVprimaryおよびCTV1およびPTV1・PTV2とリスク臓器(網膜、視神経・視交叉、水晶体)の線量が把握できる情報としてDVHと以下の数値データを添付すること。
CTV: MeanD(%), D98(%), D2(%), PTV: MeanD(%), D98(%), D2(%), D50(%), Ian Paddick's conformity index (IPCI)、網膜、視神経・視交叉、水晶体のD2(%)
口 照射体積を示す情報
GTVprimaryおよびCTV・PTVの明示されたBEVやDRR画像などGTV/CTV/PTVと照射野の関係を示す資料(ただし、IMRTの場合は必須ではない)
口 照合画像
リニアックグラムまたはEPID画像のコピー
口 照射録のコピー
照射日程、照射方向、X線エネルギー、モニタユニット、各照射野の標的基準点に対する処方線量、照射野サイズ(横x縦)、治療深度、ウェッジ係数、その他の係数が記載された原資料のコピー
登録前直近の診断画像および放射線治療に関する資料、放射線治療記録のコピーなど

資料送付に関するご質問は、
「放射線治療研究事務局 溝脇 尚志 e-mail: mizo@kuhp.kyoto-u.ac.jp」 までご連絡ください
品質保証活動へのご協力感謝いたします

Table with 7 columns: QAC 記入, receive1, check1, check2, input1, input2, confirm, query, receive2, check3, input3, confirm, fix, review1, review2, memo

CTCAE v4.0 Term 日本語	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4
発熱	38.0-39.0°C (100.4-102.2° F)	>39.0-40.0°C (102.3-104.0° F)	>40.0°C (>104.0° F) が ≤24時間持続	>40.0°C (>104.0° F) が >24時間持続
肺炎	-	中等度の症状がある; 内服治療を要する(例: 抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬)	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する; IVRIによる処置/内視鏡的処置/外科的処置を要する	生命を脅かす; 緊急処置を要する
肺炎	症状がない; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	症状がある; 内服治療を要する; 身の回りの日常生活動作の制限	高度の症状がある; 身の回りの日常生活動作の制限; 酸素を要する	生命を脅かす; 緊急処置を要する(例: 気管切開/挿管)
放射線性皮膚炎 (外耳の炎症含む)	わずかな紅斑や乾性落屑	中等度から高度の紅斑; まだらな湿性落屑; ただしほとんどが限や限局している; 中等度の浮腫	限や限局以外の部位の湿性落屑; 軽度の外傷や摩擦により出血する	生命を脅かす; 皮膚全層の壊死や潰瘍; 病変部より自然に出血する; 皮膚移植を要する
食欲不振	食生活の変化を伴わない食欲低下	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない投与量の変化; 経口栄養剤による補充を要する	顕著な体重減少または栄養失調を伴う(例: カロリーや水分の経口摂取が不十分); 経管内補液/経管栄養/TPNを要する	生命を脅かす; 緊急処置を要する
末梢神経障害 (神経痛など)	-	限局性; 局所的処置を要する(例: 外服の抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬)	抗菌薬/抗真菌薬/抗ウイルス薬の静脈内投与による治療を要する; IVRIによる処置または外科的処置を要する	生命を脅かす; 緊急処置を要する
好中球数減少 * LLNは1,000/mm ³ とする	<2,000-1,500 /mm ³	<1,500-1,000 /mm ³	<1,000-500 /mm ³	<500 /mm ³
血小板数減少	<158,000-75,000 /mm ³	<75,000-50,000 /mm ³	<50,000-25,000 /mm ³	<25,000 /mm ³
クレアチニン増加	男性 >1.07-1.605 mg/dL 女性 >0.79-1.185 mg/dL	>1.605-3.21 mg/dL	>3.21-6.42 mg/dL	>6.42 mg/dL
白血球減少	<3,300-3,000 /mm ³	<3,000-2,000 /mm ³	<2,000-1,000 /mm ³	<1,000 /mm ³
リンパ球数減少 * LLNは1,500 /mm ³ とする	<1,000-800 /mm ³	<800-500 /mm ³	<500-200 /mm ³	<200 /mm ³
貧血	男性 Hb<13.7-10 g/dL 女性 Hb<11.6-10 g/dL	Hb<10.0-8.0 g/dL	Hb<8.0-6.5 g/dL	Hb<6.5 g/dL
褥瘡	体表面積の<10%を占める褥瘡; 局所治療を要する	体表面積の10-30%を占める褥瘡; 内服治療を要する	体表面積の>30%を占める褥瘡; 静注治療を要する	-
疲労	休息により軽快する疲労	休息によって軽快しない疲労; 身の回りの日常生活動作の制限	休息によって軽快しない疲労; 身の回りの日常生活動作の制限	-
便秘	不定期または間欠的な症状; 便軟化剤/緩下剤/食事の工夫/浣腸を不定期に使用	緩下剤または浣腸の定期的使用を要する持続的便秘; 身の回りの日常生活動作の制限	排便を要する頑固な便秘; 身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす; 緊急処置を要する
悪心	摂食習慣に影響のない食欲低下	顕著な体重減少; 脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	カロリーや水分の経口摂取が不十分; 経管栄養/TPN/入院を要する	-
脳血管虚血	症状がない; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	中等度の症状がある	-	-
発作 (虚脱発作)	部分虚脱発作; 意識障害はない	短い全身性虚脱発作	内服治療を行っているにもかかわらず繰り返起こる虚脱発作	生命を脅かす; 重症化する虚脱発作の重症状態
うつ病	軽度のうつ症状がある	中等度のうつ症状がある; 身の回りの日常生活動作の制限	高度のうつ症状がある; 身の回りの日常生活動作が制限される; 入院を要さない	生命を脅かす; 自傷他害の危険がある; 入院を要する
血栓塞栓症	静脈血栓症(例: 表在性血栓症)	静脈血栓症(例: 合併症のない深部静脈血栓症); 内服治療を要する	血栓症(例: 合併症のない肺塞栓症(静脈)、心内血栓(動脈)のない血栓症); 内服治療を要する	生命を脅かす(例: 肺塞栓症、脳血管イベント、動脈系循環不全); 循環動態が不安定または神経学的に不安定; 緊急処置を要する
中耳の炎症	漿液性中耳炎	内服治療を要する漿液性中耳炎	乳核突起炎; 外耳道軟部組織や骨の壊死	生命を脅かす; 緊急処置を要する

CTCAE v4.0 Term 日本語	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4
放射線性皮膚炎	わずかな紅斑や乾性落屑	中等度から高度の紅斑; まだらな湿性落屑; ただしほとんどが限や限局している; 中等度の浮腫	限や限局以外の部位の湿性落屑; 軽度の外傷や摩擦により出血する	生命を脅かす; 皮膚全層の壊死や潰瘍; 病変部より自然に出血する; 皮膚移植を要する
白内障	症状がない; 臨床所見または検査所見のみ; 治療を要さない	症状がある; 中等度の視力の低下を伴う(0.5以上)	症状があり; 顕著な視力の低下を伴う(0.5未満; 0.1を超える); 外科的処置を要する(例: 白内障手術)	視力喪失の失明(0.1以下)
中耳の炎症	漿液性中耳炎	内服治療を要する漿液性中耳炎	乳核突起炎; 外耳道軟部組織や骨の壊死	生命を脅かす; 緊急処置を要する

